

令和6年度（柏市）**中堅教諭等資質向上研修 I** 実施要項

1 目的

教育公務員特例法第24条第1項の規定、並びに地方教育行政の組織及び運営に関する法律第59条の規定により、柏市の年次研修の一環として、当該教諭等に対して、個々の能力や適性等に応じて教科指導や生徒指導等に関する実践的指導力の向上を図るとともに、校務の推進における企画力や運営力の育成を図る。

2 対象

(1) 悉皆対象

柏市立小中学校に勤務する教諭のうち、原則として、採用より10年目（2015年度採用）のものが受講対象者となる。

※育休や産休、療休等の取得により、過去の経験者研修に未受講がある場合、教育研究所に確認をしてから申込をする。

(2) 任意対象

柏市立小中学校に勤務する教諭のうち、採用より9年目（2016年度採用）、及び8年目（2017年度採用）のもので、諸事情により令和6年度の受講を強く希望するものは、受講を可とすることがある。教育研究所に事前連絡の上、**研修履歴システム**で申込をする。

※悉皆対象の人数によっては、その限りではない。

(3) 受講対象外

- ・養護教諭、養護助教諭及び栄養教諭（千葉県教育委員会に依頼し実施）
- ・主幹教諭
- ・指導主事、社会教育主事その他教育委員会の事務局において学校教育又は社会教育に関する事務に従事した経験を有するもの
- ・すでに中堅教諭等資質向上研修 I を受講済のもの
- ・その他柏市教育委員会で認めるもの

3 申し込み方法

受講対象者は、**研修履歴システム**により申し込む。

- (1) 研修履歴システムによる第1期申込において、柏市の中堅教諭等資質向上研 I (3810604) の申込を行う。
- (2) 研修履歴システムによる第2期申込において、選択講座の申込を行う。

夏季特別研修から2講座を選択し受講する。

なお、当該講座による受講を、夏季休業中の悉皆研修と兼ねることができる。

※講座内容や実施日については、「**V特別研修 (P.119,120)**」参照

4 研修方法 及び 内容

(1) 校外研修6日 (6コマ)

教育研究所主催 及び 課題設定された研修。

半日を1コマとする。

(i) 必修単位 (全4コマ)

ア オンデマンド研修 (1コマ)

イ 全体集合研修 (2コマ)

ウ アクションプラン実践報告会 (1コマ)

(ii) 選択単位 (全2コマ)

(2) 校内研修

以下のア～ウの3種類の研修をそれぞれ実施 (あわせて10日以上)

ア ミドルリーダー研修

イ 授業実践研修

ウ アクションプラン実践研修

5 研修方法

(1) 校外研修

(i) 校外研修詳細

ア オンデマンド研修について

- ・管理職と相談の上, オンデマンド研修を受講する日程を4月中に設定する。
- ・オンデマンド視聴および課題設定 (管理職との面談含む) で2時間を予定している。(オンデマンド視聴と課題設定日を分けてもよい)

イ 全体集合研修について

- ・受付時間
研修開始 30分前～10分前まで
- ・持ち物
名札 (学校で使用しているもの), 要項 (ダウンロードしたもの), 筆記用具,
記録用ノート, バインダー, その他指定があったもの

【校外研修年間計画】

回	実施日	時間	指標	主題・内容	講師	会場
1	4月中 に実施	2時間程度	D14 (2.0)	オンデマンド研修 アクションプラン及び研修の進め方 ※動画視聴後に管理職と面談の上、 課題を設定する。	教育研究所	自校
2	5/14 (火)	13:30 ～13:40	A1	講話「中堅教諭への期待」	教育研究所長	県民 プラザ さわやかちば 大研修室
		13:40 ～16:15 (～16:30)	D12 D14 (2.5)	講義・演習 「アクションプラン① プランの作成」 (※リフレクション, 連絡)	横浜国立大学 准教授 脇本 健弘 教育研究所	
選 ① ②	夏季特別研修より2コマ受講 ※下記(ii)選択単位について 参照					
3	8/7 (水)	13:00 ～16:15 (～16:30)	D12 D14 (3.0)	講義・演習 「アクションプラン② ブラッシュアップ」 (※リフレクション, 連絡)	横浜国立大学 准教授 脇本 健弘 教育研究所	県民 プラザ さわやかちば 大研修室
4	1/29 (水) 1/30 (木) 1/31 (金) いずれか	9:30 ～12:00 又は 13:30 ～16:00	D12 D13 D14 (2.5)	「アクションプラン③ 実践報告会」	柏市 教育委員会	沼南 庁舎 大会議室
		12:00 ～12:30 又は 16:00 ～16:30	A3 (0.5)	講話 及び 研修のリフレクション	教育研究所	

(ii) 選択単位について

夏季特別研修より2コマ受講

※「夏季休業中の特別研修（柏市教職員が悉皆で受講する研修講座）」について、
上記選択単位と兼ねることができる。

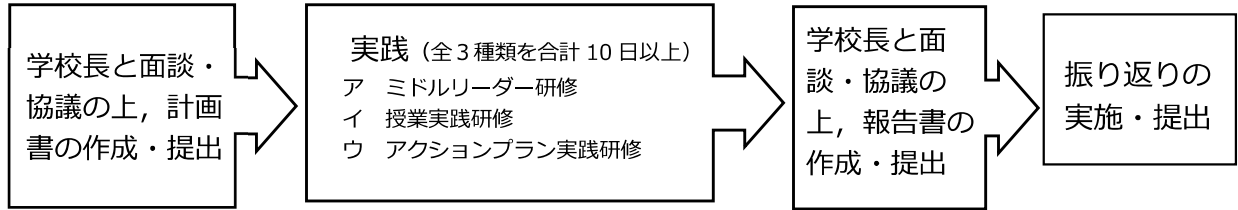
※夏季研修講座（7）・（8）は中堅研受講者優先講座になります。

※自己研鑽として3コマ目以上選択してもよい。

※申し込みは研修履歴システム第2期。

(2) 校内研修

校内研修の流れ



(i) 「研修計画書」の作成・提出について

< 作成者：校長及び研修者 >

【計画書】中堅教諭等資質向上研修 I 「研修計画書」(中堅研_様式1)

- (1) 学校長等と研修者で面談・協議を行い，中堅教諭として求められる資質能力や，より伸ばしたい優れた点，改善し力を付けたい点等，必要と考えられる研修内容について共通理解を図り課題形成を行う。
- (2) (1)を踏まえたうえで自身のミドルリーダーとしての課題を明確にし，達成目標を設定する。
- (3) (2)を踏まえたうえで校内研修計画を作成する。
- (4) 学校長は，計画書の内容を確認し，「研修者へ期待する成果」を入力する。
- (5) 研修履歴システム中堅研_「研修計画書」フォルダに課題提出を行う。

【提出期限 5月15日(水)～6月21日(金)】

※5月の全体集合研修にて，詳細を確認してから提出すること。

(ii) 校内研修の実施について

校内での研修を自身でマネジメントし，研修を計画する。校内の教職員への働きかけや管理職，指導主事等との協議やリフレクション等を行うことで研修とみなす。

次のア～ウの研修を **3種類すべて**実施し，合計10日～15日程度とする。

1日の研修の単位時間は，小学校45分，中学校は50分とする。

ア ミドルリーダー研修

2年目研のメンターとして，若手の授業づくりについて指導・助言を行う。

	2年目研修	中堅教諭等資質向上研修 I
位置づけ	2年目研修 授業実践研修	ミドルリーダー研修
目的	自校の中堅研 I 受講者に指導・助言をもらい，成果と課題を共有するとともに，課題解決を図る。	学校の若手の課題解決に向けて，指導・助言を行うとともに，ミドルリーダーとしての役割を自覚する。
実施方法	①指導案検討時に助言・指導をしてもらう ②授業展開（道徳以外） ③授業後協議会 ④教育課題の共有	①若手の指導案検討における助言・指導 ②授業参観 ③授業後協議会の助言 ④若手の教育課題への助言・指導
実施時期	5月～1月	

【実施例】

①	2年目が いない場合	例1) 講師・初任者・3年目など若手教諭への指導助言を行う。 例2) 同一学年や同一教科の若手教諭への指導助言を行う。
②	2年目が 複数の場合	例1) 中堅研I受講者が全ての2年目に指導助言を行う。【複数回】 例2) 校長が推薦した教諭とチームを作って指導助言を行う。

イ 授業実践研修

学校の授業課題解決に向けて、校内での教職員が参加の上、指導案の検討会、実践授業、授業後の協議会を計画し、実施する。

※**原則、校外講師の指導を受ける。**

※指導案の作成時間は、日数にカウントされないが、作成上で校内の教職員と協議等を行った際は、カウントしてよい。

【授業実践に校外講師を要請する場合】

授業実践において、校外講師を要請する場合は、指導案作成後、管理職の指導を受け、授業日の10日前（柏市教育委員会は5日前）まで（休日は除く）に校外講師へ提出する。また、校外講師を要請する場合は、市や県の指導主事に限定せず、近隣の学校教職員、教職経験者や大学の職員など、広く校外の人材を活用する。

ウ アクションプラン実践研修

学校の教育課題解決に向けて、学年経営や教科経営、校務分掌等の受け持つ分掌から、校務推進の課題を設定し、自己の強みを生かし校内の教職員や組織に働きかけながら実践を行う。自身のマネジメントについて振り返り、学校組織マネジメントを校内へ広めていく。

例 若手研修の企画運営

年間指導計画や行事、校務分掌の評価改善に向けた協議会

学校評価の分析会議の運営

全国学力・学習状況調査の分析会議運営 等

(iii) 「研修報告書」の作成について

< 作成者：校長及び研修者 >

【報告書】中堅教諭等資質向上研修I「研修報告書」(中堅研_様式4)

(1) 「研修計画書」を基に、研修を実施するごとに入力を行っていく。

※基本日数を越えての報告となってもよい。

(2) 既定の日数分を終了後、自身の達成目標に対する自己評価を入力し、学校長等と面談・協議を行い、自身の成果や今後の課題等について共有する。

(3) 学校長に総合所見欄を入力してもらい、最終確認を受ける。

研修履歴システム中堅研_「研修報告書」フォルダに課題提出を行う。

【提出期限 3月4日(火)】

6 提出書類様式一覧

様式No.	名称	提出期限	作成者	提出方法
中堅研_様式1	研修計画書	5月15日(水) ～6月21日(金)	校長 受講者	【研修履歴システム】中堅研 「研修計画書」フォルダ
中堅研_様式2	アクションプランシート	5月15日(水) ～6月21日(金)	受講者	【研修履歴システム】中堅研 「アクションプラン」フォルダ
中堅研_様式3	アクションプラン実践報告書	1月10日(金)	受講者	【研修履歴システム】中堅研 「アクションプラン報告書」フォルダ
中堅研_様式4	研修報告書	3月4日(火)	校長 受講者	【研修履歴システム】中堅研 「研修報告書」フォルダ

※ 各研修様式は、[研修履歴システム](#)よりダウンロードする。

※ アクションプラン関係書類については、随時連絡いたします。

担 当 教育研究所
電 話 04-7191-7387

令和 6 年度 中堅教諭等資質向上研修 I 研修計画書

学校名	柏市立
学校長名	
学年・教科	
研修者氏名	

1. 達成目標（※研修者作成）

2. 校外研修計画

回	予定日時	主な内容または講座名
1	4月	オンデマンド研修（4月末日までに設定）
2	5月14日（火）	集合研修
3	8月7日（水）	集合研修
4	1月	アクションプラン実践報告会
選択①	夏季休業中	※研修履歴システム第2期にて夏季特別研修から2講座申込 （計画書の中では未記入で構いません）
選択②	夏季休業中	

3. 校内研修計画(学校の課題解決に沿った内容のもの)（※研修者作成）

区分	研修種類		ねらう主な指標	実施予定月	主な研修内容の予定	実施予定日数
	区分	ア	ミドルリーダー研修		月	
月					日	
月					日	
月					日	
月					日	
月					日	
月					日	
		指導助言する相手（年目）		0	合計	
イ		授業実践研修		月		日
				月		日
				月		日
				月		日
				月		日
				月		日
	月			日		
	校外講師（所属・職）		0	合計		
ウ	アクションプラン実践研修		月		日	
			月		日	
			月		日	
			月		日	
			月		日	
			月		日	
			月		日	
	取り組む主な課題		0	合計		
※基準 3種類すべて実施 10日以上15日程度 越えてもよい。						0 日

4. 研修者へ期待する成果（※校長作成）

記入例

令和 6 年度 中堅教諭等資質向上研修 I 研修計画書

学校名 柏市立 柏の森中学校
 学校長名 森 太郎
 学年・教科 2 学年・キャリア科
 研修者氏名 林 花子

1. 達成目標（※研修者作成）

学校教育目標である『自律する生徒の育成』を受け、生徒指導主任として校内の生徒会活動を自律に向けて活性化させるべく、若手教員との協働し、生徒主体の活動となるよう計画を立て、その成果を明らかにしていく。

2. 校外研修計画

回	予定日時	主な内容または講座名
1	4月	オンデマンド研修（4月末日までに設定）
2	5月14日（火）	集合研修
3	8月7日（水）	集合研修
4	1月	アクションプラン実践報告会
選択①	夏季休業中	※研修履歴システム第2期にて夏季特別研修から2講座申込
選択②	夏季休業中	（計画書の中では未記入で構いません）

3. 校内研修計画(学校の課題解決に沿った内容のもの)（※研修者作成）

区分	研修種類	ねらう主な指標		実施予定月	主な研修内容の予定	実施予定日数
区分	ア ミドルリーダー研修	B5	5	月	2年目教諭と打ち合わせ：課題の設定および状況の把握	1 日
		B6	6	月	2年目教諭と打ち合わせ：スケジュールの確認及び見通し	1 日
		D12	8	月	指導案検討会：教科に関わる先生方をまじえて実施	1 日
			9	月	実践後の協議会	1 日
				月		日
				月		日
				月		日
	指導助言する相手（年目）				木戸 蓮（2年目）	4 合計
	イ 授業実践研修	B5	4	月	研究主任と打ち合わせ：課題の設定、スケジュールの確認	1 日
		B6	10	月	教科部会による指導案検討会	1 日
			11	月	ブレ授業後の検討会議	1 日
		D12	11	月	実践後の協議会	1 日
					月	
				月		日
				月		日
校外講師（所属・職）				未定	4 合計	
ウ アクションプラン実践研修	C7	5	月	組織メンバーへアクションプランについて説明	1 日	
	D12	6	月	生徒会行事検討委員会における課題設定と日程調整会議	1 日	
		6	月	自律に向けた生徒会行事検討会議	2 日	
		8	月	1学期分の生徒会行事評価改善会議	1 日	
		12	月	2学期分の生徒会行事評価改善会議	1 日	
		2	月	次年度の生徒会行事の年間指導計画作成会議	1 日	
			月		日	
取り組む主な課題				自律する生徒の育成に向けた生徒会活動の実施	7 合計	
※基準 3種類すべて実施 10日以上15日程度 越えてもよい。						15 日

4. 研修者へ期待する成果（※校長作成）

--

令和 6 年度 中堅教諭等資質向上研修 I 研修報告書

学校名 柏市立
 学校長名
 学年・教科
 研修者氏名

1. 校外研修報告（※研修者作成）

回	実施日	主な内容または講座名
1	4月	オンデマンド研修（4月末日までに設定）
2	5月14日（火）	集合研修
3	8月7日（水）	集合研修
4		アクションプラン実践報告会
選択①		
選択②		

2. 校内研修報告(自己の課題解決に沿った内容のもの)（※研修者作成）

区分	研修種類	実施月	研修を実施して学んだことや考えたこと、身につけたかなど	実施日数	
		月		日	
ア	ミドルリーダー研修	月			日
		月			日
		月			日
		月			日
		月			日
		月			日
		月			日
		月			日
指導助言した相手（年目）				0	合計
イ	授業実践研修	月			日
		月			日
		月			日
		月			日
		月			日
		月			日
		月			日
		月			日
校外講師（所属・職）				0	合計
ウ	アクションプラン実践研修	月			日
		月			日
		月			日
		月			日
		月			日
		月			日
		月			日
		月			日
取り組む主な課題				0	合計
※基準 10日以上15日程度 越えてもよい。				0	日

3. 校内研修計画（様式1）において掲げた達成目標に対する自己評価（※研修者作成）

4. 総合所見（※校長作成）

記入例

令和 6 年度 中堅教諭等資質向上研修 I 研修報告書

学校名 柏市立 柏の森中学校
 学校長名 森 太郎
 学年・教科 2 学年・キャリア科
 研修者氏名 林 花子

1. 校外研修報告 (※研修者作成)

回	実施日	主な内容または講座名
1	4月	オンデマンド研修 (4月末日までに設定)
2	5月14日 (火)	集合研修
3	8月7日 (水)	集合研修
4	1月31日 (金)	アクションプラン実践報告会
選択①	8月1日 (木)	夏季研修講座 (7)
選択②	8月2日 (金)	夏季研修講座 (8)

2. 校内研修報告(自己の課題解決に沿った内容のもの) (※研修者作成)

区分	研修種類	実施月	研修を実施して学んだことや考えたこと、身につけた力など	実施日数			
				日	合計		
A	ミドルリーダー研修	5 月	2年目教諭と打ち合わせ	2年目教諭のアイデアを活かしつつ、学年の先生方を巻き込みながら、協議会まで実施することができた。	1	日	
		8 月	指導案検討会		2	日	
		9 月	実践後の協議会		1	日	
		9 月	管理職とのリフレクション		1	日	
		月				日	
		月				日	
		月				日	
	指導助言した相手 (年目)		木戸 運 (2年目)		5	合計	
	イ	授業実践研修	4 月	研究主任と打ち合わせ	ベテラン教諭と意見交換をし、学習者主体の単元構想を行った。ブレ授業で、若手教員も交え、子どもの目線からより良い授業となるよう会議を実施できた。	1	日
			10 月	教科部会による指導案検討会		1	日
			11 月	ブレ授業の検討会議		1	日
			11 月	実践後の協議会		1	日
			月				日
月						日	
月						日	
校外講師 (所属・職)		荒木 花江 (指導課・指導主事)		4	合計		
ウ	アクションプラン実践研修	5 月	組織メンバーへアクションプランについて説明	生徒指導主任として、重点目標の自律に向けた検討会議を実施することで、組織として学校改善に向けて取り組むことができた。	1	日	
		6 月	自律に向けた生徒会行事検討会		2	日	
		8 月	1学期分の生徒会行事評価改善会議		1	日	
		12 月	2学期分の生徒会行事評価改善会議		1	日	
		2 月	管理職とのリフレクション		1	日	
		月				日	
		月				日	
取り組む主な課題		自律する生徒の育成に向けた生徒会活動の実施		6	合計		
※基準 10日以上15日程度 越えてもよい。				15	日		

3. 校内研修計画 (様式1) において掲げた達成目標に対する自己評価 (※研修者作成)

4. 総合所見 (※校長作成)